

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観的事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2020年4月)

### 【内政】

- 5日、ヤイ前大統領は、Facebookにおいて自身が名誉総裁を務めるFCBE党の地方議会議員選挙の候補者リストに疑義を呈し、党を脱退することを発表した。(7日, Le Matinal 紙)
- 30日、独立国家選挙委員会(CENA)は、5月17日に実施される地方議会議員の選挙キャンペーンの開始を宣言した。同キャンペーンはメディアでの実施に限定され、2週間続く。(5月4日, La Nation 紙)

### 【外政】

- ベナン政府は、現在世界に展開する39公館の一部を閉鎖することを決定した。アフリカ5公館、中東1公館、南・北米公館2公館、アジア1公館が閉鎖される予定である。(3日, Le Matinal 紙)

### 【治安・保健】

- 4日、内務・治安省は声明を発表し、教会、モスク等の宗教施設の閉鎖を5日より起算して2週間延長する旨国民に通達した。(6日, La Nation 紙)
- 10日、ウンパティン保健相は、日本の無償資金協力により建設されたアラダ病院を新型コロナウイルスの治療用病院に指定することを公表した。(14日, Le Matinal 紙)

### 【経済】

- 8日、EUはベナンの経済・財政、地方分権、農業面での政府の取り組みとパフォーマンスを評価し、ベナンに対する総額260.37億CFAフラン(約52億円)の財政支援の実施を発表した。(14日, Le Matinal 紙)
- 21日、IMFは2020年のベナンの経済成長率に関し、新型コロナウイルス及びナイジェリアとの国境閉鎖の影響により3.2%になるとの見通しを示した。(23日, L'Économiste 紙)

### 【文化・その他】

- 21日、国境なき記者団による2020年報道の自由ランキングが公表され、ベナンは113位に位置づけられた。2019年の96位から17位下げた。(22日, L'Économiste 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙、および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

### 【内政】

- 3日、選挙人名簿監督委員会(COS-LEPI)は、5月の地方議会議員選挙の候補者名簿を独立国家選挙委員会(CENA)に提出した。これにより正式に候補者が出そろった。(6日, La Nation 紙)

- ・ 4日, 経済犯罪・テロ取締裁判所(CRIET)は, コミ・クチェ元経済・財務相・元国家マイクロファイナンス基金(FNM)代表に対し, 公金横領及び職権乱用の罪で20年の禁固刑及び5億CFAフランの罰金刑を言い渡した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 5日, ヤイ前大統領は, Facebook において自身が名誉総裁を務めるFCBE党の地方議会議員選挙の候補者リストに疑義を呈し, 党を脱退することを発表した。(7日, Le Matinal 紙)
- ・ 7日, 国民議会2020年第1通常会期が開会した。開会式は新型コロナウイルスの影響により小規模で行われた。(8日, L'Économiste 紙)
- ・ 独立国家選挙委員会(CENA)は, 5月の地方議会議員選挙に関し, コロナウイルスの蔓延を防止するため, 集会や選挙キャラバンの禁止, メディアを通じたキャンペーンに限定する等の規制を行った。(15日, La Nation 紙)
- ・ ヴラヴォヌ国民議会議長は, 2019年10月1日から2020年3月31日までの議長活動報告書を国民議会に提出し, 全会一致で承認された。(15日, La Nation 紙)
- ・ 30日, 独立国家選挙委員会(CENA)は, 5月17日に実施される地方議会議員の選挙キャンペーンの開始を宣言した。同キャンペーンはメディアでの実施に限定され, 2週間続く。(5月4日, La Nation 紙)

#### 【外政】

- ・ ベナン政府は, 現在世界に展開する39公館の一部を閉鎖することを決定した。アフリカ5公館, 中東1公館, 南・北米公館2公館, アジア1公館が閉鎖される予定である。(3日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, タロン大統領は, 新型コロナウイルス対策のためのUEMOA首脳会合(ビデオ会議)に出席した。本会合は, 5兆2850億CFAフラン(約1兆5,170億円)の対策費を投入することを決定した。(28日, La Nation 紙)

#### 【治安・保健】

- ・ 1日, 政府はコロナウイルス蔓延の予防のため, マスクを200CFAフラン(約40円)の統一価格で販売することを閣議決定した。(2日, La Nation 紙)
- ・ 2日, コトヌ空港から入国し, 政府指定の宿泊施設において検疫隔離されていた85名の隔離期間が終え, 83名が宿泊施設を出た。残り2名は検査の結果, 陽性であったため隔離が続いている。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日, 北部アリボリ県のコロナウイルス調査委員らはカンディ県師範学校を視察し, 感染者隔離施設に指定した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 4日, 内務・治安省は声明を発表し, 教会, モスク等の宗教施設の閉鎖を5日より起算して2週間延長する旨国民に通達した。(6日, La Nation 紙)
- ・ 6日, ウンパティン保健相は, コロナウイルスによる初の死者が出たことを公表した。43歳の女性でコトヌ市内の病院に数日間入院していた。(7日, La Nation 紙)

- ・ 6日, 政府は, コロナウイルス対策として防疫地帯において8日から外出時のマスクの着用を義務づけることを閣議決定した。(7日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 日本の無償資金協力により建設されたラギューン母子保健病院(CHUMEL)において, 助産師の新型コロナウイルス感染が確認されたのを受け, 全面消毒処置が行われた。(7日, Le Matinal 紙)
- ・ 10日, ウンパティン保健相は, 日本の無償資金協力により建設されたアラダ病院を新型コロナウイルスの治療用病院に指定することを公表した。(14日, Le Matinal 紙)
- ・ 14日, ベルギー技術協力公社(ENABEL)は, 新型コロナウイルス対策のため保健省において, シャビ保健相次官の出席の下, 救急車2台(トヨタ・ランドクルーザー)の引渡し式を行った。供与された救急車は総額5,260万CFAフラン(約1,520万円)にのぼる。(15日, La Nation 紙)
- ・ 15日, トロスター駐ベナン・ドイツ大使は, 保健省においてアコベト官房長に対し検査キット及び検査機材を供与した。供与品目の内訳は, 約2,600万CFAフラン(約520万円)の検査キット及び検査施設用機材である。(16日, La Nation 紙)
- ・ 15日, シャグリ駐コトヌ・レバノン領事は, 保健省において, アコベト官房長に対し5,000万CFAフラン(約1,000万円)の義援金小切手を譲渡した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 15日, ペン駐ベナン中国大使及び在留中国人協会は, アベノンシ外務・協力相及びウンパティン保健相出席の下, 医療物資供与に係る合意に署名し, 880万CFAフラン(約176万円)にのぼる義援金の小切手を譲渡した。(16日, La Nation 紙)
- ・ 16日, アブドゥ駐ベナン・ニジェール大使は, アフリカ諸国の駐ベナン大使らを代表して, 新型コロナウイルス対策としてベナン政府に400万CFAフラン(約80万円)の小切手を譲渡した。(17日, La Nation 紙)
- ・ 20日, 北部アタコラ県ナチテング市で竜巻が発生し, 家屋・学校の破損等の物的被害をもたらした。人的被害はなかった。(23日, Le Matinal 紙)
- ・ 23日, UNICEFはベナン政府に対し約2千万CFAフラン(約400万円)相当の医療機材を提供した。(27日, La Nation 紙)
- ・ 25日, 新型コロナウイルスの感染者発生を受け一次閉鎖していたラギューン母子保健病院(CHUMEL)は, 手洗い, マスク着用などの対策を講じつつ再開した。(27日, L'Événement Précis 紙)
- ・ ベナン政府は新型コロナウイルス対策として, 28日より防疫地帯内に限定されていたマスクの着用義務をベナン全土に拡大する通達を出した。(28日, La Nation 紙)

#### 【経済】

- ・ IMFは理事会を開催し, 新型コロナウイルスの影響を考慮して, ベナンを含む24か国の債務を軽減する決定を行った。(15日, La Nation 紙)

- ・ 8日, EUはベナンの経済・財政, 地方分権, 農業面での政府の取り組みとパフォーマンスを評価し, ベナンに対する総額260.37億CFAフラン(約52億円)の財政支援の実施を発表した。(14日, Le Matinal 紙)
- ・ 9日-17日の間, ベナン向け拡大信用ファシリティ(ECF)の第6次レビューを実施したIMFミッション(団長:リュック・エイロー氏)は, ベナン政府の経済運営を高評価し, 所定の1.25億米ドルが供与されることが決定した。(22日, La Nation 紙)
- ・ 21日, IMFは2020年のベナンの経済成長率に関し, 新型コロナウイルス及びナイジェリアとの国境閉鎖の影響により3.2%になるとの見通しを示した。(23日, L'Économiste 紙)
- ・ ワダニ経済・財務相は, 仏誌 Jeune Afrique に寄稿し, 新型コロナウイルスを契機としたアフリカ諸国への債務軽減は将来の貸付を危うくするとの理由で, 同措置に反対の立場を示した。(24日, Le Matinal 紙)
- ・ 28日, ベナン商工会議所(CCIB)は, 事業の海外展開に向けて協力を得るべくアベノンシ外務・協力相を訪問し, 在外ベナン大使との関係強化を要請した。(28日, La Nation 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 8日, 在ベナン日本国大使館は第14回国際漫画賞の募集を開始した。募集は7月10日までである。(16日, Le Matinal 紙)
- ・ 21日, 国境なき記者団による2020年報道の自由ランキングが公表され, ベナンは113位に位置づけられた。2019年の96位から17位下げた。(22日, L'Économiste 紙)